



2019年6月28日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長CEO 一瀬 邦夫
(コード番号: 3053) 東証第一部
NASDAQ (ティッカーシンボル: KPFS)
問い合わせ先 総務本部長 安田 一郎
電話番号 03 (3829) 3210

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年2月14日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,187	百万円 1,867	百万円 1,888	百万円 1,069	51円21銭
今回修正予想(B)	34,952	278	202	453	21円74銭
増減額(B-A)	△7,235	△1,589	△1,686	△616	
増減率(%)	△17.1	△85.1	△89.3	△57.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	27,967	1,491	1,480	715	34円54銭

2019年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 93,562	百万円 5,594	百万円 5,637	百万円 3,493	167円33銭
今回修正予想(B)	76,423	2,061	2,012	1,529	73円38銭
増減額(B-A)	△17,139	△3,533	△3,625	△1,964	
増減率(%)	△18.3	△63.2	△64.3	△56.2	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	63,509	3,863	3,876	△121	—

修正の理由

2019年12月期第2四半期累計期間における連結業績は、いきなり！ステーキ業態につきまして、210店舗出店を目標にスタートが切られましたが、出店が進む中、一部地域において、いきなり！ステーキの店舗同士の競合などの影響により既存店の売上高は計画に比べ大幅に減少致しました。

その影響を受け、いきなり！ステーキ業態は、今後の出店用地（既存店の売上に影響を及ぼさない用地）の見極めを慎重に行うこと、既存店を必要に応じて他業態へ変更することを鑑み、当初の出店計画を210店舗から115店舗と見直しました。

この結果、前回発表の第2四半期累計期間の予想に対し売上高が7,235百万円、営業利益が1,589百万円、経常利益が1,686百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益が616百万円下回る見込みですので、第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに通期の業績予想につきましても、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の見直し修正を致します。

2019年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	41,464	2,245	1,427	68円56銭
今回修正予想(B)	34,567	406	453	21円74銭
増減額(B-A)	△6,897	△1,839	△974	
増減率(%)	△16.6	△81.9	△68.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	27,651	1,950	1,185	57円00銭

2019年12月期通期個別業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	92,311	6,083	3,939	189円22銭
今回修正予想(B)	75,661	2,226	1,529	73円38銭
増減額(B-A)	△16,650	△3,857	△2,410	
増減率(%)	△18.0	△63.4	△61.2	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	62,650	4,798	△530	—

修正の理由

2019年12月期第2四半期累計期間における個別業績は、いきなり！ステーキ業態につきまして、210店舗出店を目標にスタートが切られましたが、出店が進む中、一部地域において、いきなり！ステーキの店舗同士の競合などの影響により既存店の売上高は計画に比べ大幅に減少致しました。

その影響を受け、いきなり！ステーキ業態は、今後の出店用地（既存店の売上に影響を及ぼさない用地）の見極めを慎重に行うこと、既存店を必要に応じて他業態へ変更することを鑑み、当初の出店計画を210店舗から115店舗と見直しました。

この結果、前回発表の第2四半期累計期間の予想に対し売上高が6,897百万円、経常利益が1,839百万円及び四半期純利益が974百万円下回る見込みですので、第2四半期累計期間の業績予想を修正するとともに通期の業績予想につきましても、売上高、経常利益及び当期純利益の見直し修正を致します。

(注) 上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以上